



小牧市新たな学校づくり推進計画（案）【概要版】

パブリックコメント実施期間（令和6年7月10日（水）～8月9日（金））

資料2

はじめに

計画策定の目的

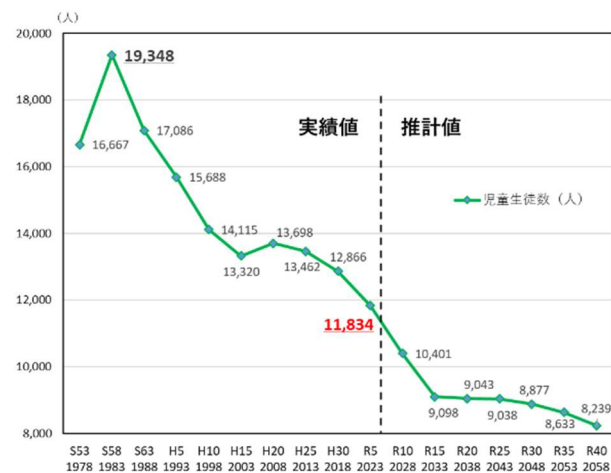
児童生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中、将来を担う子どもたちに充実した教育環境を整えるため、子どもたちにとってより望ましい教育環境と本市における学校施設の適正規模・適正配置の基本的な考え方を整理した計画を策定し、将来の教育環境の整備（建替え・大規模改修・学校再編等）の方針とすることを目的とします。



児童生徒数の減少

児童生徒数は減少傾向にあり、令和15年度の学級数の推計では、多くの学校で学級数が減少し小規模化が進み、特に三ツ淵小・篠岡小・桃ヶ丘小・陶小・光ヶ丘小・大城小・篠岡中の7校では、全ての学年で1学級となる見込みです。学校の小規模化が進むと、教育面や学校運営面でさまざまな課題に直面することになります。

児童生徒数の推移及び推計



学級数の推計（令和15年度）

＜小学校＞							
地区	学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年
小牧	小牧	4	4	4	4	4	4
	小牧原	3	3	3	3	3	3
	小牧南	4	4	4	4	4	3
小牧南	米野	4	4	4	4	4	4
	村中	2	2	2	2	2	2
	三ツ淵	1	1	1	1	1	1
巾下	味岡	4	4	4	4	4	4
	一色	3	3	2	2	2	3
	本庄	2	2	2	2	2	2
味岡	篠岡	1	1	1	1	1	1
	桃ヶ丘	1	1	1	1	1	1
	陶	1	1	1	1	1	1
篠岡	光ヶ丘	1	1	1	1	1	1
	大城	1	1	1	1	1	1
	北里	2	2	2	2	2	2
北里	小木	1	1	1	1	1	2

＜中学校＞				
地区	学校名	1年	2年	3年
小牧	小牧	6	6	6
小牧南	応時	5	6	6
巾下	小牧西	2	2	2
味岡	味岡	5	5	5
	岩崎	4	4	4
篠岡	篠岡	1	1	1
	桃陵	2	2	2
北里	光ヶ丘	2	2	2
	北里	4	3	3

小規模校の課題

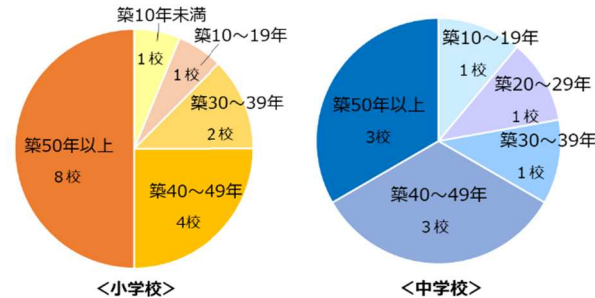
- クラス替えができず、子どもの関係が固定化しやすい
- 多様な考え方・価値観にふれることが難しくなる
- 経験年数等のバランスがとれた職員配置やそれを生かした指導の充実が難しくなる
- 社会性や協調性を伸ばす機会が少なくなる
- 切磋琢磨する教育活動ができにくくなる
- 部活動、委員会等で選択肢が少なくなる

学校施設の老朽化

多くの学校で老朽化が進んでおり、対策が必要な状況にあります。市の財政が厳しさを増す中、負担を一時期に集中させないために、無理のない建替えを計画的に実施する必要があります。

学校の築年数と割合（令和6年度）

＜小学校＞			＜中学校＞		
地区	学校名	築年数	地区	学校名	築年数
小牧	小牧	13	篠岡	篠岡	66
	小牧原	49		桃ヶ丘	49
小牧南	小牧南	3		陶	40
	米野	55		光ヶ丘	37
巾下	村中	60	北里	北里	62
	三ツ淵	63		小木	50
味岡	味岡	58	篠岡	篠岡	59
	一色	55		桃陵	43
	本庄	49	北里	光ヶ丘	35
				北里	61



よりよい教育環境をつくるために

児童生徒数が減少していく中、子どもたちに豊かな学びを保障するためには、日ごろの学校生活や「学び合う学び」の授業など全ての教育活動において、**子どもたちが様々な見方や考え方、価値観、文化等の多様性に触れる機会が重要であり、一定の集団規模が確保されていることが望ましい**です。



適正規模・適正配置

学校の適正規模の基本的な考え方

本市における学校の適正規模の基本的な考え方は次のとおりです。

小学校	中学校
1校あたり 12学級 から 24学級 （1学年あたり2学級から4学級）	1校あたり 12学級 から 24学級 （1学年あたり4学級から8学級）

適正規模の条件を満たさない学校については、小規模校・大規模校の課題の解消に努めますが、地域の事情に応じて、弾力的に運用することとします。

学校の適正配置の基本的な考え方

本市における学校の適正配置の基本的な考え方は次のとおりです。

	小学校	中学校
通学距離の許容範囲	おおむね 4 km以内 を目安	おおむね 6 km以内 を目安
通学時間の許容範囲	おおむね 1時間以内 を目安	おおむね 1時間以内 を目安

徒歩での通学距離が著しく遠距離となる子どもたちについては、年齢や季節等を考慮した上で、公共交通機関の活用やスクールバスの導入等の検討が必要です。

今後の取組

学校再編のイメージ

子どもたちにとってより望ましい教育環境を実現し、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化等に対応するため、適正規模の学校を適正に配置することを基本的な考え方とし、学校再編の検討を進めます。

学校再編のイメージは下記のとおり示していますが、**このイメージは児童生徒数の推計及び適正規模・適正配置の基準に基づいた必要学校数のイメージであり、具体的な再編案は、今後、地域の実情に合わせて地域別の再編計画を策定していく中で検討します。**

